

研究課題名：肺癌検診喀痰細胞診が契機で発見された肺腺癌の解析

本研究は、ちば県民保健予防財団倫理審査委員会の審査結果（承認）を踏まえて理事長が許可した研究であり、1995～2008年における喀痰集検受診者のうち、喀痰細胞診のC・D・E（中等度異型・高度異型/癌を疑う・癌）判定から発見された腺癌40例のなかから、肺癌病期が確定しD・E判定細胞の出現を認め検鏡が可能であった腺癌19例を、IA期5例とIB期以上14例の2群に分類し、年齢・喫煙指数・異型上皮細胞の出現数・集塊出現数・異型度・核クロマチンについて比較します。

肺癌検診喀痰細胞診は肺門部早期扁平上皮癌の発見を目的に実施されていますが、当施設では肺門部扁平上皮癌のみならず肺腺癌も喀痰細胞診により数多く発見されています。喀痰検診で発見された肺扁平上皮癌については検討されていますが、腺癌について解析された報告はほとんどありません。また分子標的治療においても腺癌と扁平上皮癌の鑑別が重要になっていることから、肺腺癌の細胞像を把握することはより重要になっています。特に喀痰細胞診によるIA期小型肺腺癌の解析データは、早期肺癌の発見率向上のみならず肺腺癌の組織型推定に有用な資料となり、肺癌治療に大きく貢献できる可能性が考えられます。

本研究における個人情報等の扱いは以下の通りです。

1. 本研究はデータのみを収集する疫学研究であり、本研究のために新たに人体試料の採取は行いません。
2. 受診者の皆様の個人情報を削除した上でデータ分析を行います。
3. 研究の成果は学会や学術雑誌等で公表する予定ですが、個人が特定できる情報を公表することはありません。
4. 本研究の主任研究者および分担研究者は、本研究に関して利益相反はありません。

本研究にご自身のデータが利用されることについて、ご同意いただけない場合、またお問い合わせ等につきましては、下記までご連絡ください。

検査部 病理・細胞診断科 科長代理 田口明美